

介護人材確保の取組について

1. 趣旨

第9期知多北部広域連合介護保険事業計画第4章「住み慣れた地域で暮らし続けるために」の基本目標3「自立に向けた介護サービスの安定提供」において、「介護人材の確保・定着と資質の向上」の項目では、「高齢者が、住み慣れた地域で介護を受けながら暮らし続けるためには、介護サービスを安定的に提供できる基盤が必要」としています。その目的を達成するには、介護職の魅力発信や、介護人材の裾野を広げる取組などの対策が、保険者と事業所に求められます。介護人材不足の課題は保険者と事業所、両者にあるため、両者の取組が必須となります。

介護人材不足の課題

主体	課題
保険者 (社会的課題)	介護人材不足により人員基準を満たさない事業所は廃止となる。そうすると、被保険者への介護サービスの提供が滞り、その結果被保険者の自立支援の阻害の原因につながる。
介護事業所 (経営課題)	介護人材不足により、提供サービスの質の低下や事業所の廃止のリスクが増える。その結果、法人の業績悪化を招きかねない。

2. 第9期中に実施もしくは実施予定の事業

保険者と事業所が実施する、介護人材確保の取組は次のとおりです。(事業所については想定で列举しています。)

保険者が実施するもの(公助)(予定を含む)

	事業	概要	予算措置
①	資質向上研修	介護従事者等の資質向上により業務改善を目的とし、知多北部広域連合主催で各種研修を実施。	県補助(3/4)あり
②	【新】介護職員初任者研修費補助(R6～)	介護人材の裾野拡充を目的とし、介護職員初任者研修に係る費用について補助するもの。	県補助(3/4)あり
③	【新】主任介護支援専門員研修費補助(R6～)	指定基準である必須資格取得のハードルを下げることによる事業所廃止リスク低減の為、主任介護支援専門員研修に係る費用について補助するもの。	県補助(3/4)あり
④	【新】ケアプランデータ連携システム導入補助(R7, R8 予定)	ケアプランデータ連携システムを導入する事業所に対し、導入費用の一部補助を行う。居宅介護支援事業所とサービス事業所がケアプラン情報のデータ連携を行うことにより、請求事務の負担軽減等を図る。	5,000円を補助(約1/4相当) ※別途県補助(3/4)あり
⑤	【新】介護就職フェア(R7～ 予定)	知多北部広域連合と東海市主催で、介護事業所限定で就職フェアを開催する。日本福祉大学学生に周知するなどを行い、介護人材の新規獲得を図る。	出展料を記念品費に充てる
⑥	介護の魅力発信	HPにより介護の仕事の魅力を発信	なし

事業所が実施するもの(自助)

	手法		手法
①	ハローワークの活用	⑦	求人チラシへの登録
②	各種就職情報誌への掲載	⑧	外国人人材確保の活用
③	人材派遣関係業者への登録	⑨	同業種との意見交換(共助)
④	就職・転職サイトなどの登録	⑩	I C T導入等による業務改善
⑤	新聞・CM・SNSなどのメディア	⑪	業務の整理・再構築
⑥	各種就職フェアへの参加		etc・・・